

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3年後期	3	3	選択
担当教員			
脇坂 圭一・長尾 亜子・針谷 将史			
添付ファイル			
講義概要			
建築設計は、様々な要因への統合的視点が求められる。社会性、周辺環境、歴史、構造、温熱環境などへの知見を、意匠的・造形的に解決し提案することを学ぶ。そのため都市を対象とし、社会性を持ったプログラムにより演習を行う。また卒業設計へ向けた導入部と位置付ける。 この科目は、建築設計分野の実務経験のある教員が担当する科目である。			
授業計画	1	ガイダンス 建築設計課題「小学校」-1 建築学に対する学問上の位置付けと建築学科カリキュラムに対する位置付けの説明。 ・全体ガイダンスと課題説明を行い、AL①とAL②を行う。 ・外部講師によるレクチャーを行う。 ・演習課題①②を行い、AL⑤とAL⑥を行う。 準備学習：建築専門書や専門雑誌で建築作品を学習する。 課題：演習課題①②を行う。(AL④) 詳しくは課題書で指示する。	
	2	建築設計課題「小学校」-2 ・演習課題①②を発表し、AL①とAL②を行う。 準備学習：演習課題を行う中で建築専門書や専門雑誌で演習に関連する事例を学習する。また敷地調査、周辺の街並みのフィールドワークを行い、歴史・文化などの調査を行う。 課題：敷地模型を作成する。(AL④) 詳しくは課題書で指示する。	
	3	建築設計課題「小学校」-3 エスキス1：全体構想しながら配置計画を行い、AL①とAL②を行う。 ・ボリュームスタディを行う。 準備学習：敷地周辺の特徴をまとめ、ゾーニングを行う。 課題：敷地模型を作成する。(AL④) 詳しくは課題書で指示する。	
	4	建築設計課題「小学校」-4 エスキス2：全体構想を立案し、各図面などで検討しながら、AL①、AL②、AL③を行う。 準備学習：前回までの授業を受け、更に全体構想をまとめるためのスタディ（図面、模型など）を行う。 課題：スタディ（図面、模型など）を行う。(AL④) 詳しくは課題書で指示する。	
	5	建築設計課題「小学校」-5 エスキス3：全体構想を立案し、各図面などで検討しながら、AL①、AL②、AL③を行う。 準備学習：前回までの授業を受け、更に全体構想をまとめるためのスタディ（図面、模型など）を行う。 課題：スタディ（図面、模型など）を行う。(AL④) 詳しくは課題書で指示する。	
	6	建築設計課題「小学校」-6 エスキス4：全体構想を立案し、各図面などで検討しながら、AL①、AL②、AL③を行う。 準備学習：前回までの授業を受け、更に全体構想をまとめるためのスタディ（図面、模型など）を行う。 課題：スタディ（図面、模型など）を行う。(AL④) 詳しくは課題書で指示する。	
	7	建築設計課題「小学校」-7 エスキス5：全体構想を立案し、プレゼンテーションを行い、AL①、AL②、AL③を行う。 準備学習：前回までの授業を受け、更に全体構想をまとめるためのスタディ（図面、模型など）を行う。 プレゼンテーション作業を行う。 課題：スタディ（図面、模型など）を行う。(AL④) 詳しくは課題書で指示する。	
	8	建築設計課題「小学校」-8、「都市コンプレックス」-1 ・建築設計課題「小学校」を提出し、講評会を行い、AL①、AL②、AL③を行う。 ・建築設計課題「都市コンプレックス」の課題内容を提示する。 準備学習：前回までの授業を受け、プレゼンテーション作業を行う。 課題：演習課題①②を行う。(AL④) 詳しくは課題書で指示する。	
	9	建築設計課題「都市コンプレックス」-2 ・演習課題①②を発表し、AL①とAL②を行う。 ・外部講師によるレクチャーを行う。 準備学習：演習課題を行う中で建築専門書や専門雑誌で演習に関連する事例を学習する。また敷地調査、周辺の街並みのフィールドワークを行い、歴史・文化などの調査を行う。 課題：敷地模型を作成する。(AL④) 詳しくは課題書で指示する。	
	10	建築設計課題「都市コンプレックス」-3 エスキス1：全体構想しながら配置計画を行い、AL①とAL②を行う。 ・ボリュームスタディを行う。 準備学習：敷地周辺の特徴をまとめ、ゾーニングを行う。 課題：敷地模型を作成する。(AL④) 詳しくは課題書で指示する。	
	11	建築設計課題「都市コンプレックス」-4 エスキス2：全体構想を立案し、各図面などで検討しながら、AL①、AL②、AL③を行う。 準備学習：前回までの授業を受け、更に全体構想をまとめるためのスタディ（図面、模型など）を行う。 課題：スタディ（図面、模型など）を行う。(AL④) 詳しくは課題書で指示する。	

	12	建築設計課題「都市コンプレックス」-5 エスキス3：全体構想を立案し、各図面などで検討しながら、AL①、AL②、AL③を行う。 準備学習：前回までの授業を受け、更に全体構想をまとめるためのスタディ（図面、模型など）を行う。 課題：スタディ（図面、模型など）を行う。（AL④）詳しくは課題書で指示する。
	13	建築設計課題「都市コンプレックス」-6 エスキス4：全体構想を立案し、各図面などで検討しながら、AL①、AL②、AL③を行う。 準備学習：前回までの授業を受け、更に全体構想をまとめるためのスタディ（図面、模型など）を行う。 課題：スタディ（図面、模型など）を行う。（AL④）詳しくは課題書で指示する。
	14	建築設計課題「都市コンプレックス」-7 エスキス5：全体構想を立案し、プレゼンテーションを行い、AL①、AL②、AL③を行う。 準備学習：前回までの授業を受け、更に全体構想をまとめるためのスタディ（図面、模型など）を行う。 プレゼンテーション作業を行う。 課題：スタディ（図面、模型など）を行う。（AL④）詳しくは課題書で指示する。
	15	建築設計課題「都市コンプレックス」-8 ・建築設計課題「都市コンプレックス」を提出し、講評会を行い、AL①、AL②、AL③を行う。 準備学習：前回までの授業を受け、プレゼンテーション作業を行う。
	16	再提出、アーカイブデータ作成、コンセプトテキスト作成 ・講評会時に不足事項があった作品について、図面および模型について再提出を行い、担当教員の確認を受ける。 ・第一課題（小学校）、第二課題（都市コンプレックス）について、プレゼンシートのスキャンデータ作成、模型写真撮影を行い、アーカイブデータとして学科サーバーに格納する。 ・年度末のアンニアル作成に向けて、入賞者はコンセプトテキストの作成を行い、担当教員の確認を受ける。
授業形態	グループごとに対面式、エスキスチェック。発表は合同。模型、スケッチ、プレゼンテーションパネルによる。 アクティブラーニング：①:15 回, ②:0 回, ③:14 回, ④:14回, ⑤:0 回, ⑥:0 回	
達成目標	設計において以下の項目について習得する。 1. 敷地、コンテキストの読み取り方を演習課題を通して習得する。（基礎） 2. コンセプトと設計の組み立て方の関係性を演習課題を通して習得する。（基礎） 3. 配置計画、平面計画、断面計画、立面計画、外構計画の作図および表現技法を通して習得する。（基礎） 4. 社会の中での建築の役割を学び、演習課題を通して提案を行う。（応用） 5. 光、風などの自然現象の扱い、構造、環境などの要素を空間へ結実させ、演習課題を通して提案を行う。（応用）	
評価方法・フィードバック	・評価方法は演習課題①②の提出物の採点による。（各50%） ・提出物は授業時に提示する。 ・プレゼンテーションパネル（図面）、模型などの内容および完成度などが評価対象になる。 ・提案の妥当性、独自性、社会的意義が評価対象になる。 ・講評会により提出物に対しフィードバックを行う。	
評価基準	提出物の総合評価による。 秀(1~5)100~90、優(1~5)89~80、良(1~5)79~70、可(1~3)69~60、不可59以下 ただし、カッコ内は達成目標の項目を示す。	
教科書・参考書	参考書：課題書および授業時に示す。	
履修条件	・建築設計B1を履修していること。 ・卒業設計を選択するものは必ず履修する事。	
履修上の注意	・授業時のエスキスを受け、エビデンスを提出すること。 ・エスキスチェックにおいて必ずスケッチ、検討図、模型などを成果物を持参すること。 ・提出の締切日時は厳守とする。	
準備学習と課題の内容	・授業時のエスキスにはスケッチ、模型など成果物を持参すること。（予習1.5h以上） ・授業時の指導を元に更に発展学習を行うこと。（復習1.5h以上） ・課題に応じて、関連図書、建築雑誌の購読を勧める。 ・設計は日常的な思考と作業の蓄積が重要である。課題進行中は継続的に作業を続け、毎週のエスキスチェックを到達点の目安とすると良い。	
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解：20％, 思考・判断：30％, 関心・意欲：15％, 態度：15％, 技能・表現：20％	
DP1 知識・理解		
DP2 思考判断		
DP3 関心意欲		
DP4 態度		
DP5 技能・表現		